

山口村合併関連議案県議会提出の要請 要旨

平成16年11月24日(水)

県庁 3階 第3応接室

13時00分 ~ 14時00分

【中津川市・山口村の合併を進める会斉藤代表】

9月になぜ議案を提案しなかったのか、理由がわかりませんでした。12月にはぜひとも議案を提出していただき、スムーズな合併が実現できるよう体制をとっていただきますようお願い致します。

【PTA保護者会】

9月に議案提出を見送ったことについて、子供たちや親は不安でたまらない。保護者会としても子供たちが交流会をするなど十分な配慮をしてくれています。どうか1日でも早く子供たちのために行政としての責任を果たしていただきたくお願い致します。

【女性】

子供を持つ親として、子供の進学や学校がどうなるのか不安で、子供や住民のことをもっと考えて、ぜひ合併させてほしいのでよろしくお願い致します。

【男性】

島崎藤村の関係の方も孤立してしまうのではないかと心配している。21日の松本での集会で弁護士が法的には県民が決めることであると言っていますが、本当にそうなのでしょうか。もしそうであれば、山口村の民主主義はストップしてしまうと思います。

また、長野県の重点支援地域の指定を受け、県の御指導のとおり情報公開や住民が判断する機会を設けながら進めてきました。住民の暮らしのことをもっと真剣に考えてほしいです。

【小林部長】

2年以上かけて山口村の皆さんが民主主義の手続きを進めてこられて、合併担当課でも事務的に合併の準備をしてくれています。

9月議会に議案を提案する予定とした理由は、一つには4月に合併申請書が提出されていたこと。二つ目には財産処分や事務引継ぎについて、岐阜県とおおむね協議が整ったこととございます。

民主的なルールや民意を尊重致しますが、越県合併については、県民の意向を調査して提案することとなったわけです。

9月議会後は、議会も総務省などへ調査をしてきているようですが、知事と十分検討し、知事自身も熟慮している状況でございます。

【玉井まちづくり支援室長】

重点支援地域の指定につきましては、合併についての情報提供や合併協議会で必要に応じて助言していくということでございます。

【男 性】

1,221名の村民の署名が集まったことに対してどう思われますか。

【小林部長】

71%の方が要請されているので、これが事実であると受け止め、お聞きをすることでございます。

【男 性】

小さな自治をねじ伏せることになると思いませんか。この1ヶ月間に県は何をしてこられたのですか。

【部 長】

9月議会後は、仮に12月議会で議決された場合に備えて、担当課を通じて合併に間に合うように関係方面と話し合いをしてきたところです。

【男 性】

敢えて争いもしないし、怒りを抑えて冷静にしてきました。昭和の合併では、凄まじく悲しい姿を見てきており、ようやくその時の感情がとれてきました。

生活圏が中津川や坂下であり、県には大変お世話になったが、このことは中津川市に合併しても後世に伝えていきたいと思っています。

【男 性】

合併に対する熱い想いをぜひご理解いただき、12月には議案を提出していただきたくお願い致します。

もし仮に、長野県に残った場合はしっかりと財政支援をしていただけるのでしょうか。また、議案を出すのはどこで決まるのですか。議案を出さない場合は、我々に残されている道はあと何があるのでしょうか。

【小林部長】

最終的な判断は知事の権限でございますが、あとは仮定のお話なので何ともお答えしようがないのですが。

【男 性】

県世論調査協会が行ったアンケート調査の結果をどのように考えていますか。

【小林部長】

1万人のアンケート調査は5択であり、県で想定していた設問と違うために、どれだけ客観性があるのかと考えています。

県民の議論を踏まえて、しかるべき対応をしていきたいと考えているところでございます。